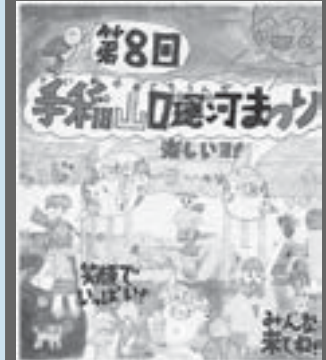


まちをつくり、まちを動かすのは、その地域に住む人々の力。
 さまざまな活動に励む姿を、そこに込められた思いを、あなたにも
 知ってほしくて・・・

“まち”ものがたり Vol. 3

▼手稲山口運河まつり▲



▲星置の子どもたちが通う3つの小学校の児童の絵が、お祭りのポスターになりました

九月、今年で八回目を迎えた「手稲山口運河まつり」が行われ、晴天の中、多くの人でにぎわいました。「手稲山口運河まつり実行委員会」を中心としてつくりあげるこのお祭りには、星置地区の三つの連合町内会などに加えて、地元の小・中・高等学校の先生や生徒たちもボランティアで協力。地域の多くの人の力を合わせて、同地区の一大イベントを盛り上げています。

明治二十七年（一八九四年）から約四年間をかけて作られた山口運河は、物資輸送などに重要な役割を果たしました。開拓の歴史を物語る財産であるこの運河を、地域のにぎわ

いのシンボルとすることを目的に始められたこのお祭り。同地区の特産品であるカボチャやスイカの重さあてや、スイカの早食い競争などの地域個性を生かした催しに加えて、運河に米俵を積んだ船を浮かべて試乗するコーナーなども設けられ、毎回子どもたちにも人気となっています。

同まつり実行委員会の主要メンバーは「一日限りのお祭り」で終わらせるのではなく、運河の歴史を語り継ぎ、守り育てる活動を通じて地域全体のまちづくり活動につなげていきたい」という思いを胸に、「（仮称）山口運河保存会」の

設立を目指しています。さらに、現在制作中の『山口運河ものがたり紙芝居』を、小学校や児童会館のほか、地域のさまざまな催しの際に披露して、子どもたちに運河の歴史を親しみやすく伝える活動を行う予定といっています。

開拓の歴史を刻んできた山口運河は、地域のシンボルという新たな役割を得て、まちづくりの舞台としての歩みを始めています。



▲明治時代を再現する船の試乗は、子どもたちに大人気！

広告欄